

| | | | |
|----------|---|------|--|
| 科目名 | 海外観光インターンシップⅡ | 科目分類 | ■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ） |
| | | | 観光学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択 |
| 英文表記 | Oversea Tourism Internship Ⅱ | 開講年次 | □1年 □2年 ■3年 □4年 |
| ふりがな | よこた けいざぶろう | 開講期間 | □前期 □後期 □通年 ■集中 |
| 担当者名 | 横田 恵三郎 | 修得単位 | 2単位 |
| 授業のテーマ | 海外観光インターンシップⅠの履修体験を踏まえながら、自己の職業適性をより明確に把握するとともに基礎的な国際感覚を養い、魅力あるバランスの取れた人間性を涵養し、活躍する社会人としての基盤の構築を目的とする。 | | |
| 授業概要 | 当該講義は事前指導・海外での実習・事後指導・報告会で構成されている。接客現場での就労体験を行なうことになるため、海外観光インターンシップⅠの履修体験を振り返りながら、身だしなみ、表情、挨拶、言葉遣い等のビジネス・マナーを復習し、一層高いレベルを追求する。今回渡航する国の諸情報を収集し、以前の海外体験を参考にしつつ、安全かつ有意義な海外滞在にするにはどうすればいいか自ら考えてみる。実習中は毎日を振り返り、必ず日報として記録に残した上で、事後授業の振り返りの材料とする。 | | |
| 到達目標 | 基礎的な国際感覚を身に付け、将来、社会人として外国（人）との間で臆することなく関係を持てる人間力を養うこと。また、少なくとも自身の今後のキャリアとして観光関連企業を目指すか、非観光関連かを納得して判断できること。 | | |
| 授業時間外の学習 | アジアのニュースや動きに関心を持ち毎日、新聞やテレビなどにより新鮮な情報収集に努めること | | |
| 履修条件 | 接客現場でのインターンシップになるので整容を保てることが最低条件となる。また英語力については準2級以上を保持していることが望ましい。もしくは中国語等の外国語の授業をこれまで履修したか、現に履修していること。 | | |
| 授業計画 | | | |
| 第1回 | 事前指導① ・ガイダンス ・海外インターンシップⅠの振り返り、見つかった課題 ・今回の挑戦 ・自分への十の約束 | 第5回 | 事後指導① ・海外インターンシップの振り返り1 |
| 第2回 | 事前指導② ・整容 ・ビジネス・マナー1 ・英語のResume やメールの作成 | 第6回 | 事後指導② ・海外インターンシップの振り返り2 |
| 第3回 | 事前指導③ ・渡航国を知る（文化、習慣） ・必要な渡航準備の確認 ・ビジネス・マナー2 | 第7回 | 合同報告会①（海外観光インターンシップⅠ＆Ⅱ） （国内観光インターンシップⅠ＆Ⅱ） |
| 第4回 | 事前指導④ ・滞在中の留意事項 ・緊急時にとるべきこと | 第8回 | 合同報告会②（海外観光インターンシップⅠ＆Ⅱ） （国内観光インターンシップⅠ＆Ⅱ） |
| | インターンシップ（40時間以上） | 第9回 | 定期試験 |
| テキスト | 特に定めない。 | | |
| 参考文献・資料 | プリントとしてその都度授業の中で配付する。 | | |
| 成績評価の方法 | 試験40%、報告書・報告会での報告40%、実習受け入れ先企業の評価20% | | |
| 成績評価基準 | 【平成27年度（2015）以前に入学した学生】 優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） 【平成28年度（2016）以降入学した学生】 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。 | | |
| オフィスアワー | ① 毎週火曜 午前中 ②毎週木曜 午前中 | | |

学生への
メッセージ

今回2回目の海外インターンシップで、しっかりと自己をみつめる作業を行ない将来の方向を自信をもって定められることを期待しています。